

## 第1回学校運営協議会報告（令和3年5月14日実施）

### 1 学校運営協議会開催に関して

令和3年度からは、コミュニティ・スクール制度が導入となり、昨年度の準備委員会の協議を踏まえて進めていくこととなる。また、構成する委員は、昨年の準備委員会の委員に加え、保護者代表としてPTA本部役員から2名、学校側から教務主任を委員として新たに迎えた。

### 2 学校運営に関する基本的な方針の承認について

学校教育目標、学校経営方針（目指す児童像、目指す学校像、目指す教師像）、和土小学校として取り組むべき課題（GIGAスクール構想、学習評価、言葉の力の育成、STEAMS教育、SDGs、教科担任制）等の学校運営に関する基本的な方針について校長から説明を受け承認した。

### 3 熟議について

「家庭、地域でどのような『あいさつ運動』ができるか」について話し合った。以下のような考えが出され、全体としてまとめることとした。

令和2年度の準備委員会のまとめ

✪子どもたちと地域とのつながりをより深めながら、  
学校・家庭・地域での「あいさつ運動」に取り組む。



### 議題 「家庭、地域でどのような『あいさつ運動』ができるか」

#### <家庭での取組について>

- 保護者も挨拶 ・ 普段からの挨拶 ・ 親子間で挨拶、会話をする。
- ・ 言葉にする。 ・ 挨拶のよさを親子で考える。
- ・ 親の姿を見せて、子どもがコミュニケーションを学ぶ。
- ・ 年齢が上がると恥ずかしさが出てくる。低学年から頑張らせていく。
- ・ 挨拶には、「おはよう」「いただきます」「ごちそうさま」「おやすみ」「行ってきます」「お帰り」などがあり、どれも大切にしたい。
- 達成表を作成する。自己評価や家族で相互評価をしていく。

#### <地域での取組について>

- 大人が進んで挨拶をする。
- ・ 子どもの登下校の頃に犬の散歩やマラソン等で外に出るようにする。
- ・ 地域の人だとわかる印（カエルのシール等）をつける。
- ・ 防犯上の心配といわれるが、挨拶から連れ去りにはつながらない。いつも同じ場所で挨拶をしていれば不審者ではなくなる。
- ・ 地域の行事が減ってきているが、進んで参加していき顔見知りになる。
- 挨拶強化週間などで期間や内容を決めて自治会に協力を依頼

・ 和土小学校で、児童会の活動を中心に、子どもたちの話し合いの下、  
『あいさつ運動』に取り組む。

✪学校での『あいさつ運動』を進めていき、  
家庭や地域に協力を依頼していく。